

2020－2021年度 発達障害支援スーパーバイザー養成研修 募集要綱(改定)

昨今、強度行動障害支援や発達障害地域支援等、発達障害児者への支援の場におけるスーパーバイザーの存在の重要性は高まってきています。ただ、発達障害支援もスーパービジョンも、知識の獲得だけで実践力が向上することはなく、研修の方法さえ確立されていない状況にあります

本協会には発達障害支援に長く携わり、支援とスーパービジョンの実践を積み重ねてきた施設が多く加盟しています。本研修はそうした実践から得られたノウハウを元に構成されており、発達障害支援とスーパービジョンを学ぶ上で、他に類のない研修となっています。

年度当初にお知らせしましたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止上、実施可能なコース・プログラムのみの開催としました。いくつかのプログラムを企画しましたが、第二波、第三波と推移する中、最終的にオンラインで実施可能なベーシックコースの講義のみの実施となりました。年度末の忙しい時期の開催となりますが、受講しやすい形式ですので、奮って受講ください。

【目的】

自閉スペクトラム症をはじめとする発達障害児者への理解不足や間違った支援の結果、二次障害が生じることも少なくありません。その一因として、日本の福祉や教育の現場では適切なスーパービジョンが不足していることが挙げられています。本研修では、発達障害児・者への支援を行う発達障害者支援センター、自閉症関係施設職員及び発達障害児・者の医療、保健、福祉、教育、労働の各分野の実務に携り、一定程度の実務経験を有する方を対象に、第一人者による講義と全日本自閉症支援者協会加盟施設での実務研修、事例検討会等を通して、福祉施設はもとより関係機関・団体及び地域の核となるスーパーバイザーを養成します。

【主催】

全日本自閉症支援者協会

【後援団体】

厚生労働省、文部科学省、日本自閉症協会、日本発達障害ネットワーク、日本自閉症スペクトラム学会、発達障害者支援センター全国連絡協議会、日本知的障害者福祉協会（依頼中）

【事務局】

発達障害支援スーパーバイザー養成研修特定事務局(社会福祉法人嬉泉内)

【研修概要】

発達障害支援スーパーバイザー養成研修は、3コース、1認定審査で構成されています。

※2020年度は、ベーシックコースの講義のみ実施します。

(1) ベーシックコース

対象

○ 要件 (いずれか)

・知的・発達障害支援施設、学校・医療機関等での直接支援経験が3～5年程度の方

・発達障害児者の医療、保健、福祉、教育、労働の実務に携り、3年以上の実務経験を有する方

○ 受講動機の適性

- ・発達障害児者への支援をきちんと整理して学び、積み重ねるべき実践内容を明確にしたい方
- ・相談支援等の実務経験者で、発達障害児者に直接接する機会を求めている方
- ・所属施設等での人材育成や他機関との連携等において、発達障害児者への支援についてのアドバイスやスーパービジョン、コンサルテーション等に難しさを感じている方

形式

座学+実務研修(全自者協加盟施設での実習) ※いずれもレポートあり

※2020年度は座学の実施とします。実務研修は2021年度以降に実施する予定です。

※今年度で募集定員に達した場合、2021年度の座学の新規募集は行わない予定です。

内容

○ 座学

自閉スペクトラム症を中心とした発達障害児者への支援の基本的な知識・理念・技術

※インターネットオンラインでのeラーニング形式で実施します。

※受講レポートがあります。レポート提出をもって座学の修了となります。

※受講申し込み者以外の方、複数での視聴は厳禁でお願いします。

座学(eラーニング)カリキュラム

	内 容	講 師	時間
A	『発達障害支援の基礎①』 ～医療とアセスメント～	日本自閉症協会 市川 宏伸	90分
	『発達障害支援の基礎②』 ～受容的交流～	全日本自閉症支援者協会 石井 啓	60分
	『発達障害支援の基礎③』 ～応用行動分析～	鳥取大学 井上 雅彦	90分
	『発達障害支援の基礎④』 ～TEACCH～	川崎医療福祉大学 諏訪 利明	90分
B	『発達障害支援スーパーバイザー養成の意義①』 当事者の立場から	NPO法人DDAC 広野 ゆい	60分
	『発達障害支援スーパーバイザー養成の意義②』 家族の立場から	日本自閉症協会 今井 忠	60分
	『発達障害支援スーパーバイザー養成の意義③』 施設支援の立場から	全日本自閉症支援者協会 松上 利男	60分
	『発達障害支援スーパーバイザー養成の意義④』 発達障害者支援センターの立場から	全日本自閉症支援者協会 五十嵐 猛	60分

受講期間

2021年3月1日から1か月

※期間内であれば、何度でも繰り返し視聴可能です。

会 場

視聴環境を整えば、職場でも自宅でもどこでも構いません。

受講から修了までの流れ

- ① 受講申し込み
- ② 申込書の内容確認後、受講料の振込案内
- ③ 受講料振込確認で受付完了(通知)
- ④ 配信元 Lean on Me 社より、アクセスアカウント送付
- ⑤ Lean on Me 社により視聴状態の確認
- ⑥ 配信・受講 (期間内であればどの講義も何度でも視聴できます)
- ⑦ 事務局にレポート提出 座学修了(通知) 実務研修の案内

<受講推奨環境>

○パソコン(PC)

OS:Mac OS・Windows7, 8, 10 推奨ブラウザ:Google Chrome メモリ 2 GB 以上 (64bit OS)

解像度:1280 x 720 pixel 以上 インターネット接続:ブロードバンド接続を推奨

○モバイル端末

端末:iPhone/iPad OS;iOS 12 以降 推奨ブラウザ;Google Chrome

Android OS;Android TM6 以降 推奨ブラウザ;Google Chrome

- その他 いずれのコースも音声付きです。学習する際には イヤホンやスピーカーなどをご用意ください。
なるべく明るいところで学習しましょう。

○ 実務研修 (5日/1回以上複数回受講可) ※2021年度以降実施予定 今年度は行いません。

臨床実習を主体としたカリキュラムの中で自閉スペクトラム症を中心にした発達障害児者の特性や支援の困難さ
接し方・関わり方の基本についての実践研修

内 容

全自者協加盟施設での臨床実習

実施時期

2021年度内の実施を予定していますが、新型コロナウイルスの感染、医療対策の拡充の状況等により決定し
ます。状況によっては、次年度以降に延期の可能性があることは予めご了承ください。

会 場

初回の実務研修は、原則、受講者の在勤地の属するブロック(北海道・東北、関東、北信越、東海、近畿、中
国・四国・九州)内の全自者協加盟施設

実務研修カリキュラム(例)

月曜日				13:00 受付	～	14:00	○オリエンテーション 施設概要説明・見学 実務研修説明 研修計画確認
火曜日	9:00～ ○オリエンテーション	9:30～ ○臨床実習 活動支援	12:00～ 食事支援	13:00 休憩	14:00～ ○臨床実習 作業支援	17:00～ 振り返り	
水曜日	9:00～ ○オリエンテーション	9:30～ ○臨床実習 作業支援	12:00～ 食事支援	13:00 休憩	14:00～ ○アセスメント・支援計画策定研修 支援会議 模擬アセスメント・立案	17:00～ 振り返り	
木曜日	7:00～ ○オリエンテーション ○臨床実習 生活支援		11:00～ 休憩	13:00～ ○臨床実習 余暇支援	15:00～ ○スーパービジョン研修 支援会議 事例検討	懇親会等	
金曜日	9:00～ ○オリエンテーション ○臨床実習 生活・活動支援		12:00～ 生活支援	13:30 まとめ 考課 終了	15:00		

(2) アドバンスコース ※2020年度は実施いたしません。

対象

○ 要件：SV研修ベーシックコース修了

※ 2018年度までのSV研修ベーシックコース受講者については、集合研修受講・レポート提出、実務研修1回を終えていれば修了と見なします。

○ 受講動機の適性

- ・発達障害支援の実践経験はある程度積み重ね、より広く、より深く、より高く支援力を磨きたい方
- ・所属施設等での人材育成や他機関との連携等において難しさを感じ、発達障害児者への支援についてのアドバイスやスーパービジョン、コンサルテーション等の技能を学び、実践を重ね、後進の指導育成や地域での普及啓発・連携・指導育成に役立てたい方

研修形式

演習・座学＋事例検討(全自者協ブロック研修会等での事例検討) ※いずれもレポートあり

内容

○ 集合研修 (2日/講義・演習2)

スーパービジョンやコンサルテーションを行う上での基礎的な知識や技能

○ 事例検討会 (1回以上、期日、会場は未定)

PCAGIPによる発達障害支援およびスーパービジョン・コンサルテーションの事例検討

- ・スーパービジョンやコンサルテーションの事例検討を主とし、受講者が事例検討会のファシリテーターを務め、スーパービジョンやコンサルテーションの演習とする。
- ・事例提供はブロック研修会参加者から求める。一般的な事例検討会とは異なり、事前準備はほとんど必要ないので、検討会当日の選出で可。
- ・支援内容についての事例検討の場合には、受講者自身が事例を提示し、ブロック研修会の参加者と事例検討会を行い、スーパービジョンを受ける。

※ 今年度、全自者協・関東ブロック研修会での事例検討会の実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染が再拡大している状況を鑑み、実施を見送りました。

(3) マスターコース

対象

○ 要件

- ・SV研修アドバンスコース修了

※ 平成29年度SV研修資格認定コース受講者については、アドバンスコースの集合研修受講とレポート提出をもって修了と見なします。

○ 受講動機の適性

- ・積み重ねた発達障害支援の技能や知見を人材育成やマネジメント・コンサルテーションに活かしたい方
- ・地域における発達障害支援のリーダーとして貢献したい方

研修形式

- ・発達障害支援とスーパービジョン・コンサルテーションの実績を積む
- ・下記のような場や機会実践発表、研修講師受託など2つ以上の実績を積む
- ・修了については、全自者協理事が適否を考課します

※ 「何が実績になるのか」等、質問・相談は特定事務局で受け付けます

※ 実績や実践力は数量では測りがたいものですが、本来的には利用者やスーパーバイザーの好ましい変化(安定・成長・発達)をもたらせるか否かで測るべきものです。実質的には優れた実践家やスーパーバイザーの評価によるものとします。

内容(例)

- ・研究会や継続的な専門技能研修会等での実績
- ・国が主催する発達障害関連の研修(発達障害者地域支援推進事業における実地研修等)
- ・困難事例に対して先進的な取り組みを行っている医療・教育・労働等の機関での実地研修
- ・福祉・教育・医療等の専門機関で行われる発達障害支援に関する研修会等で講師を務める
- ・全日本自閉症支援者協会、日本自閉症スペクトラム学会、日本自閉症協会、発達障害者支援センター全国連絡協議会等の研究大会、発達障害関連の学会等で実践発表をする

※ 2020年度全自者協研究大会(滋賀)において、実践発表の場を設ける予定でしたが、大会開催延期に伴い実施はなくなりました。2021年度、研究大会実施の際には実践発表の場を設ける予定です。

(4) 認定審査

対象

- ・本研修マスターコース修了者

審査要件

- ・上記に示したマスターコースでの実績を満たしていること

審査形式

- ・認定審査委員会による書類審査(実績報告書) 口頭試問

認定形式

- ・全自者協スーパーバイザー養成研修運営委員会の承認を経て認定

【受講資格】

- 発達障害者支援センター及び自閉症関係施設の職員で3年以上の実務経験を有する方
 - 発達障害児・者の医療、保健、福祉、教育、労働の実務に携り、3年以上の実務経験を有する方
- ※ ベーシックコース受講申込時に、所属機関若しくは団体の推薦状をいただきます

【募集人員・募集時期等】

<ベーシックコース>

50名/2年 (先着順 今年度で定員に達した場合、2021年度は募集しない予定です)

募集期限:2021年2月中旬 ※定員になり次第締め切ります

※実務研修を2021年度に受講可能であることを原則とします

※集合研修、実務研修とも、レポート課題があります。

<アドバンスコース>

30名/年(2021年度予定) ※今年度の募集はありません。

※ベーシックコース修了が必須です。

<マスターコース>

定員はありません。2020年も随時受け付けています。

<認定審査>

定員はありません。(資格認定:年1回 時期は未定)

【受講費用】

<ベーシックコース>

座学(eラーニング):20,000円 実務研修:20,000円/回

※Lean on Me 社スペシャルラーニングアカウントを年度契約されている方は、回線利用料分割引きします。申込時にお知らせください。

※実務研修は実施環境が整い次第、受講手続きを開始し、受講料を徴収いたします。また、別途食費・宿泊代等の実費がかかりますので、予めご了承ください。

<アドバンスコース>

集合研修:20,000円 事例検討会:5,000円/回

<マスターコース>

無料 ※受講される研修等の費用は各自ご負担ください。

<認定審査>

審査料がかかります。(未定)

【申し込み方法】

<ベーシックコース>

添付の申込書に必要事項を記入し、メール添付にて事務局にご送付ください。(郵送、ファックスでも受付可能です。)申込書内容確認後、事務局よりご連絡します。

※事務局、配信会社とのやり取りが多くあります。原則、メールでの連絡をお願いします。

※受信アカウント作成の必要上、名前のフリガナはローマ字表記で、必ずご記入ください。

<マスターコース>

以下の書類を申し込み先に送付してください。(郵送・FAX・メール添付)

①受講申込書 ※ 確認のため、コピー・データを保管してください。

【その他】

平成30年度以前から発達障害支援スーパーバイザー養成研修を受講されている方も、問い合わせは以下でお受けします。

【問い合わせ・申し込み先】

全日本自閉症支援者協会 発達障害支援スーパーバイザー養成研修(全自者協・SV研修)

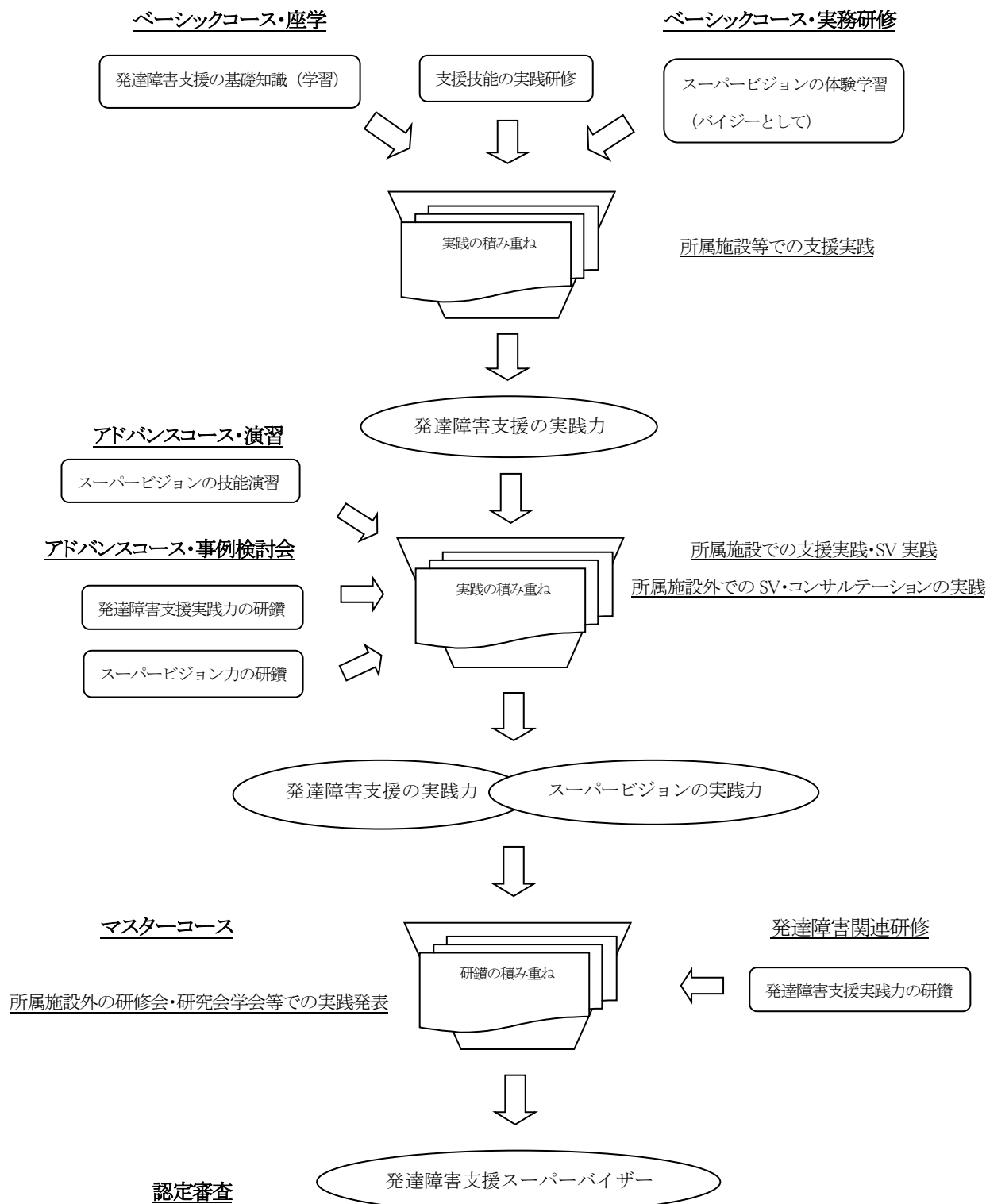
特定事務局 石井 啓 北川 裕(担当)

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 1-30-9 社会福祉法人嬉泉 子どもの生活研究所内

TEL:03-3426-2323 FAX:03-3706-7242

E-mail:sv-kensyuu@kisenfukushi.com

発達障害支援スーパーバイザー養成研修
研修の流れと自己研鑽の関係 (イメージ図)



※ 本研修は、受講者が講義や演習、実務研修で学んだことを、それぞれ所属している支援の現場等に持ち帰り、実践し、研鑽していくことを前提にしています。

受講申込書（ベーシックコース）

フリガナ(ローマ字) *1		Lean on Me・SL ログインID *2	
名前		男 女	年 月 日生 ()歳
所属	法人・団体等： 施設・学校等：		
職種	生活介護・就労支援・相談支援・教育・その他()		
資格			
連絡先 *3	<input type="checkbox"/> 職場	<input type="checkbox"/> 自宅	
	〒	〒	
	TEL: FAX: E-mail:	TEL: FAX: E-mail:	
職歴等			
受講理由 *4	<p>【発達障害支援の基礎知識の習得・向上】 具体的に:</p> <p>【発達障害支援の技能の習得・向上】 具体的に:</p> <p>【スーパービジョンの基礎知識の習得・向上】 具体的に:</p> <p>【スーパービジョンの技能の習得・向上】 具体的に:</p> <p>【その他】 具体的に:</p>		
備考	(受講番号:) *5		

*1:受信アカウント発行に必要です。必ず記入してください。

*2:(株) Lean on Me スペシャルラーニングの年契約をされている方は、必ずログインIDをご記入ください。

*3:主な連絡先を☑してください。連絡方法は原則できるだけメールでお願いします。

*4:受講理由は、できるだけ全ての項目についてお答えください。その上で主たるものを○で囲んでください。

*5:2019年度以前から受講を開始されている方は、備考欄に受講番号を記入してください。

受講申込書 (マスターコース)

ふりがな		受講番号	男	生 年 月 日
名 前			・	年 月 日生
			女	()歳
所 属	法人・団体等: 施設・学校等: 部署・グループ等:			
職 種	生活支援・就労支援・相談支援・教育・その他()			
資 格				
連 絡 先 *1	<input type="checkbox"/> 職 場		<input type="checkbox"/> 自 宅	
	〒		〒	
	TEL: FAX: E-mail:		TEL: FAX: E-mail:	
職歴・資格取得等				
受講理由 *2	<p>【発達障害支援の知識・技能の向上】 具体的に:</p> <p>【発達障害支援におけるスーパービジョンやコンサルテーションの実践】 具体的に:</p> <p>【発達障害支援あるいはスーパービジョン・コンサルテーションの実績評価】 具体的に:</p> <p>【その他】 具体的に:</p>			
備 考				

*1: 主な連絡先を☑してください。連絡方法はできるだけメールでお願いします。

*2: 受講理由は、できるだけ全ての項目についてお答えください。

受講推薦状

年 月 日

一般社団法人 全日本自閉症支援者協会

機 関 名 _____

所 在 地 _____

電 話 番 号 _____

代 表 者 氏 名 _____ 印 _____

下記の者について、発達障害支援スーパーバイザー養成研修の受講を推薦します。

氏 名	(生年月日 年 月 日)
現 住 所	〒
所 属	
現所属での 主な経歴	
現在の主な 業務内容	
推薦するコース等	ベーシックコース・アドバンスコース・マスターコース・資格認定 (推薦するコース等を○で囲んでください。)
推 薦 理 由	